

特別支援学級の学習について

1 特別支援学級において育成を目指す資質・能力

児童生徒が自立と社会参加に向けて、主体的に学習に取り組み、生きる力を身に付けるために、生徒一人ひとりの障害の状態や発達の段階等を考慮し、適切な教育課程を編成・実施する。

また、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用を通して、生徒一人ひとりの障害の状態や発達の段階等に応じた具体的な指導目標を設定するとともに、その達成に向けて指導内容やおよび指導方法を工夫するなど、個々の生徒に応じたきめ細やかな指導や配慮の充実に努める。

なお、通常の学級との連携を図り、校内支援体制の構築に努める。

2 学習計画

教科名	指導形態	内容等
国語	2グループでの学習	書く、読む(読み取る)、聞く、話す、
数学	2グループでの学習	「数」と「計算」、量と測定、図形・数量、実務
音楽	全体授業 交流及び共同学習	季節の音楽の鑑賞、演奏、合奏、歌唱
美術	全体授業	表現活動、材料・用具の扱い、鑑賞
体育	全体授業 交流及び共同学習	球技(バスケットボール、ビーチバレーボールなど)、水泳、10分間走
職業・家庭	全体授業	職業:木工など、家庭科:縫製・調理など
グローバル・スタディ	全体授業	コミュニケーション
生活単元学習	全体授業	日課・予定、ICTの扱い、地域調べ など
作業学習	全体授業	木工、スウェーデン刺繍、農作業、校内販売学習
総合的な学習	全体授業 交流及び共同学習	行事等のまとめ、季節や行事の学習 STEAMS TIMEに関する活動
自立活動	個に応じた学習 全体授業	健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション

3 評価の観点 評価の資料

それぞれの教科において、個別の指導計画を作成し、それぞれの障害の状態や発達の段階等に応じた具体的な指導目標を設定し、それについて文章にて評価する。